

# 県政なんでも 相談室

## 後継者として海外農業を勉強したいが

私は、現在、後継者として農業に従事している十九才の男子ですが、海外農業先進国に農業

### 相談



米国をはじめ、海外の農業を実際に体験しながら農業経営のあり方を探求する青年が多くなった。  
彼等は、現地での評判もよく、日本人の誇りを胸に抱いて模範的な研修活動を展開していて、いずれの国においても高く評価されている。

の勉強に行きたいと思っていますので、応募資格や方法など教えてください。

現在、海外農業を勉強する制度としては、「米国派遣農業研修生制度」と「農業実習生海外派遣制度」の二つがあります。米国派遣農業研修生制度は、米国農業を実際に体験することにより国際的視野をつちかいつつすぐれた経営能力をやしなひ、帰国

### お答え

科研修(六カ月)と農作業実習(十八カ月)に分かれています。研修コースは、酪農、肉牛、養豚、養鶏、果樹、野菜、観賞園芸に分かれており、ワシントン、オレゴン、アリゾナ等八州の農業に配属されます。派遣人員は全国から二百人(熊本県割当数は十三人)です。  
応募資格は、満十九歳以上二十七歳未満の独身男子で、高等学校以上の卒業者で、英語に対する基礎的理解力があり、

## 「米国派遣農業」と「農業海外派遣」の二つの制度

後は自らの経営改善に取り組み、農業近代化、合理化の推進力となる青年の育成を目的とし、渡米から帰国までに要する経費の一切を研修生自身が農作業実習で得た収入によってまかなわれる仕組みになっています。  
派遣期間は二カ年で、大学における学

## 保母になりたいが、受験資格と方法は

私は三月、高校を卒業予定で、将来社会福祉施設の保母として働きたいと思っています。そこで保母の職場、および保母の資

### 相談

格はどんな方法で取得することができるか、また保母試験について教えてください。

## 保母試験(三月)の申込みをお早目に

### お答え

◇保母の職場と資格 保母は、児童福祉施設において、児童の保育に従事する女子で、保母をおかなければならぬ施設は保育所をはじめとし、助産施設、母子寮、養護施設、精神薄弱児施設、虚弱児施設、し体不自由児施設、盲ろうあ児施設、重症心身障害児施設など職場は非常に多く、さらに保母の資格のある者は、寮母、児童厚生員、教母になることもできます。

◇保母試験 保母資格を取得する第二の方法としての保母試験は、熊本県の場合毎年三月に行なっておりますが、昭和四十五年は次により行なう予定です。

保母の資格は、次の二つの方法のどれかで保母資格を取得しなければならぬことになっています。  
1 厚生大臣が指定する保母を養成す

る学校その他の施設を卒業した者  
2 保母試験に合格した者  
◇保母試験 保母資格を取得する第二の方法としての保母試験は、熊本県の場合毎年三月に行なっておりますが、昭和四十五年は次により行なう予定です。

年度	種類	農業実習生							計
		米	デンク	西ドイツ	スイス	ニュージー	パキスタ	インド	
27	欧米研修生	1							1
28	派米労働者	2							2
29		2							2
30		2	1				1		4
31		38							38
32		5							5
33		40	1		1				42
34		38	1	1					40
35		98	1						99
36								6	6
37		39							39
38		52	3		1				56
39			1					1	1
40	13	2		2			1		18
41	9	1		1					11
42	6	3		1					10
43	11	1		1					13
44	12	2		1	1				16
計	51	305	27	1	5	4	2	1	403

うる人材を養成確保することを目的としています。  
一 実習先は、米国、カナダ、デンマーク、スイス、オランダ、西ドイツ、ニュージーランドの各国で、派遣期間は一カ年(デンマークは一年半)です。派遣人員は、全国で米国百五十人、欧州各国は三〇九人です。渡航費滞在費等の派遣費用は、国と地方公共団体等が負担することになっていきます。応募資格は、専業的農家の経営主またはその後継者で、現在農業に従事し、将来も農業経営に当たろうとする者、または現地方公共団体もしくは

は農業協同組合において直接農業者の指導を主任務としている農業技術者で、年齢は農業者の場合は十九歳以上三十五歳未満(デンマークは三十歳未満)。技術者の場合は二十三歳から三十歳まで(ニュージーランドは農業者、技術者とも十九歳(二十五歳)の身体強健な男子で、高校卒程度の学歴を有し、とくに語学の素養のあることが必要となっています。  
米国派遣農業研修生も農学実習生も募集時期は毎年六月〜七月頃で、各市町村役場で申し込みを受けています。

(広報外事課)